

附属平野グロッサリー 【保健体育科】

分野の凡例…【体】体づくり 【器】器械運動 【陸】陸上競技 【水】水泳 【球】球技 【武】武道（柔道） 【ダ】ダンス 【理】体育理論 【保】保健分野

教科	分野	用語	考	確	発	定義
保体	技全	コツをつかむ	○	○		それぞれの運動において、その動きのポイントを考えたり、試したりして体の使い方に気付く。
保体	球	スペースを使う	○		○	ゲームを有利に進めるうえで有効なスペースにボールを送ったり、働きかけたりすることができる。
保体	球	動きを理解する	○	○	○	その球技における基本的な動き方（動作技能・思考技能）を捉える。
保体	技全	積極的に動く			○	技能評価の基本として、自分の力を最大限に使って取り組む。
保体	体	息を合わせる	○	○	○	体ほぐしの運動で、仲間とタイミングを合わせる。
保体	体	動きを関連させる	○	○	○	体力を高める運動で、その動きを他のスポーツとかかわりを考えて行う。
保体	器	場の工夫をする	○			マットや跳び箱を行う時に、安全にまた段階に応じて練習できるような環境を整える。
保体	器	補助をする	○	○		マットや跳び箱などで、その運動を成功させるために体を支えて正しい運動経過へ導く。
保体	陸	目標記録を立てる	○	○		運動に意欲的に練習に取り組めるように、個人に則したゴールを設定する。
保体	水	安全に気をつける	○	○		水の特性を踏まえて、事故が生命にかかわることを理解して練習に取り組む。
保体	水	泳法を身につける	○	○		手と足の動きを理解し、呼吸とのバランスをとって泳ぐ。
保体	武	礼法を身につける	○		○	日本の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重する態度を身につける。
保体	武	技を習得する		○		技の構造を知り、安全に正しく行う。
保体	武	攻防する		○	○	相手の動きに応じて、相手の力を利用して技を競い合う。
保体	ダ	表現する	○	○		テーマにふさわしいイメージを見つけ、体を使って表す。
保体	ダ	リズムに乗る		○		リズムの特徴を捉え、変化とまとまりをつけて動く。
保体	ダ	発表する			○	動きを見せ合い、互いの良かった点や工夫した点などを意見交流する。
保体	技全	振り返る	○	○		活動を通して個人やチームでできたことを確認し、課題を考えて今後の学習の見通しを立てる。
保体	理	スポーツの意義を理解する		○		歴史などからスポーツの果たしてきた役割や価値を捉える。
保体	保	「発達」を理解する	○	○		思春期に心や体がどのように変化するのかを資料や自分自身を振り返り気づく。
保体	保	健康を保持増進する	○		○	健康を保つために自分の生活から課題を見つけ、解決方法を見つける。